

広報広聴関係について

各種事業名	概要	開催場所	対象者	内容	教育委員会関係件数 (H30.3定例教育委員会会議以降新たに市のホームページに公開されたもの)
ドンドン語ろう!	市長が各区に向き、まちづくりについて直接市民と対話する。	各区公民館ホール等	各区内にお住まいの方、勤務されている方	まちづくりについて〔市長〕意見交換(市長、出席者) (平成27年度開始)	6
市民の声	市民からのまちづくりについての意見や提案を市政に反映させる。	/	どなたでも	市民が、市民センターなどに置いてある緑の封筒で意見や提案を送る。	0
				市長への手紙の電子メール版。市民がファクスや電子メールにより意見や提案を送る。	

各種事業名		開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
トントン語ろう！in秋津	1	H30 1月	<p>育成クラブについて</p> <p>現状では8時～18時までの開設時間だが、朝7時から夜19時まで拡充してほしい。</p> <p>対象学年を、現在1年生から3年生までだが、全学年までに広げてほしい。</p> <p>担当である青少年教育課に今の要望を電話で伝えたところ、「すでに市できまっているので難しい。育成クラブの先生のなり手の問題や市内全校での対応ができない。」との回答であった。</p> <p>福岡市では19時までの延長時間があり、月7,000円で実施している。熊本市でも福岡市を参考に体制を整えてほしい。</p>	<p>働く方の状況を考えると、8時～18時までの開設では通勤状況やいろんな仕事の関係もありなかなか難しい。できるだけ考えていきたい。</p> <p>ただ、指導員の方が集まらないなど課題があり、スペースも足りていない。現在、学校と協力してスペース確保に努めている。</p> <p>まずは、受け皿づくりと人づくり。その体制を整った後に、段階的に、時間や対象学年の拡充など、できるだけ子育てがしやすいような環境を作っていくことは大変重要だと思っている。</p> <p>他の自治体の良い事例も参考にしながら、やらせていただきたい。</p>
	2	H30 1月	<p>小学校区の区割りについて</p> <p>桜木校区と桜木東校区の区割りを変更できないか。もともと桜木校区の人口が増えて桜木東が分校としてできたが、現在桜木小学校は児童数が減って空き教室があり、桜木東小学校は児童数が増えて教室が足りない。</p> <p>両校の校長は意見も一致している。</p> <p>教育委員会に電話したところ担当者の方は自分たちほど深刻に問題を捉えていない。</p> <p>このような状況を詳しく聞きたい。</p>	<p>校区の区割りの件は、ここだけではなく、市内のあちこちで聞く話だ。</p> <p>学校の状況に合わせてすぐに小学校区を変えることは難しく、今すぐ答えが出るものではないが、学校の状況をよくみながら考えたい。</p> <p>教育委員会に検討するよう伝える。</p>

各種事業名		開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
ドンドン語ろう！in幸田	3	H30 1月	<p>2020年教育改革について</p> <p>2020年の教育改革が持ち上がっている。今後人口知能が、現在人間がしている仕事の半分をするようになるという。それをかなえるためにプログラミング技能や考える力を養う教育が追加されると話題だ。</p> <p>そこで、タブレット端末の導入など多額の費用をかけるようだが、それを使って思考力を養うよう市も教育長が中心となって検討していくことになるだろう。</p> <p>しかし、教員がそこまでできるのか。教員が子どもの良い点を見つけて伸ばしてやるには、子どもと向き合う時間が必要ではないだろうか。まずは社会生活を営む力を子どもにつけなくてはならず、その上での考える力だろう。今までの知識を詰め込む教育より、ずっと時間と労力が必要だ。教育改革の理念は大変大切ないいことだが、教員に負担が大きすぎないか。</p> <p>英会話を小学生からやらせることについて、どう考えるのか。非常に難しい課題があると思う。</p> <p>日本語の勉強がしっかりできないうちに英会話をすることは難しいのに、全国的に進めて行くという。日本語と英語どっちつかずにならないようにするにはどうしたらよいか、考えを聞きたい。</p>	<p>ご意見のとおりかと思う。まずは思考力を高めること、対話の中から多くのことを学び取ることが一番大切なことだと認識している。そのときの補助的な道具として使い情報を入れるのがタブレット端末などのICT情報端末機器だ。便利に使いながらも、本質的には、論理的思考力、プログラミングなど次の時代を担うための能力を高めていこうとするものだ、2020年教育改革のことを認識している。</p> <p>英会話に関しては、自分は以前ビジネスで英語を使っていた経験からいえば、言語は使えば使うほど上達するものだ。</p> <p>しかし、まずは、日本語で思考して伝える、会話することがきちんとできることが重要である。さらに、外国人とコミュニケーションを図るには、自分の国・まちを語れなければならない。熊本の良いところはどこだと語るためには、英文法より外国人に伝える内容を勉強することが大切だ。外国語を話せるようになっても伝える中身がなければ意味がない。</p> <p>今日は聴覚障害の方も参加していただいているが、「（手話で）お疲れ様です。少しずつ手話を勉強しています。下手ですががんばってます。」と、このようにすれば伝わる。子どもたちには、伝えようとするハートの強さも、この教育改革で一緒に学んでほしい。</p> <p>これからの学校教育は、論理的思考力など中身の部分がとても大切になると思っており、この考え方で教育委員会とやり取りをしているところだ。</p> <p>【指導課追記】</p> <p>2020年度に全面実施の小学校新学習指導要領では、「外国語活動」開始を現行の小学校5年生から小学校3年生へ早め授業時数を年間35時間確保するとともに、小学校5年生及び6年生は教科書を使う正式な教科の「外国語科」となり、授業時数が現行の35時間から70時間へと倍増する。そこで本市では、2018年度から全小学校で新学習指導要領を先行実施することとしており、外国語指導助手（ALT）については、段階的に拡充し、学習指導要領の全面改訂となる2020年度の前年度までに、ALTの活用授業時数割合を全国平均並みを目指しており、については教職員の負担軽減にもつながるものと考えます。</p>

各種事業名	開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
トントン語ろう！in幸田	4 H30 1月	<p>地域活動に市職員の活用を</p> <p>年金の支給開始年齢が70歳。70歳まで勤めなければならぬとなれば、自治会の役員は現実的には70歳からになるだろう。地域防災が大切だが、その担い手となる人材が高齢化しており、特に震災時には70歳以上の者は働けないと思う。</p> <p>一方で、市の職員は若い。定年延長の話もあるが、その間の世代をどう使っていくか。市職員で自治会の加入者（自治会役員のことと思われる）はほとんどいない。率先して市職員が地域に出てきてほしい。</p> <p><u>地域防災リーダーなどは、市でフリーの職員を率先して出して勉強させてはどうか。2050年には子どもが減り、小学校が減ると試算がある。つまり教職員が余るので、この人材を地域防災リーダーに割り振りできないか。</u></p>	<p>自治会に出てこれようになるのが70歳くらいからになるのではないかとお話だった。自治会長の平均は熊本市で69歳だが、例えば高知県では最年少が75歳であり熊本市はまだ若い方である。しかし、勤め人など40～50代の人にはなかなか平素から地域活動に参加することは難しい状況があるようだ。</p> <p>自治体職員が定年退職後に自治会に参加することは考えているところ。</p> <p>また、すでにその地域に住んでいる市職員のなかから避難所を開設する担当を何人が決めたりなど取組を始めている。さらに、地域担当職員を配置し、地域のみなさんと一緒になって活動できる雰囲気づくりをしているところ。</p> <p>防災担当職員となるリーダー作りだが、これは、防災士の資格を取るように予算査定なども行っているところだ。郵便局の局長さんは、防災士の資格を持っているので、そのような方々とのネットワークを作ってはいかがかと考えている。</p> <p>人材をもっとフレキシブルに使ってはどうかとの趣旨のご提案かと思う。がんばっていききたい。</p> <p>【教職員課追記】 <u>学校数の減少に合わせて、教職員定数も減少するので、教職員が余るということはない。</u></p>
トントン語ろう！in幸田	5 H30 1月	<p>田迎南小学校について</p> <p>田迎南小学校は昭和59年に田んぼの中に建てられた。近年、田んぼを埋め宅地化された。小学校はプレハブ校舎を建増しして対応しているが、抜本的に校舎を建設してはいかがか。</p> <p>小学校に大人の背丈の二倍ほどの高さになるサザンカの木が7本植えられている。サザンカやツバキには、毒をもつチャドクガ（目に見えないほどの小さな虫）が発生する。刺されると真っ赤になる。このような樹木は小学校に植えないほうがよいのではないか。</p>	<p>【教育委員会】</p> <p>田迎南小学校の周囲に住宅地があり、今後児童数が増加する見込みである。現在は不足する教室についてプレハブ校舎で対応しているが、長期的に不足することが予想されるようであれば、校舎の増築を検討していきたい。</p> <p>学校では、ある程度の植樹をすすめている。サザンカは肥後六花のひとつでもあるため植樹している状況だ。しかし、チャドクガの発生は、子どもたちに影響があることから、消毒（子どもたちに影響がない範囲での消毒）で対応をしている。</p> <p>【市長】</p> <p>チャドクガについては、教育委員会と環境局とで連携して対応していく。（環境共生課と調査するよう、市長からの指示あり。）</p> <p>【施設課追記】</p> <p>チャドクガの対応としては、花期が終わったら、風通しをよくするため、学校で剪定を実施するよう依頼済み。</p> <p>また、万一、チャドクガが発生した場合は、基本的に学校で駆除を行い、学校が対応できない場合は、教育委員会施設課において駆除することで学校と調整を図った。</p>

各種事業名		開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
ドンドン語ろう！in幸田	6	H30 1月	<p>戦争の体験について</p> <p>わたしは83歳。熊本空襲のときに市中心部に住んでいて焼夷弾が直撃した悲惨な光景を目の当たりにした。語り部にしていただけたら、空襲の話ができる。</p>	<p>【市長】 ぜひ、語り部としてご活躍いただきたい。若い人が戦争の体験の話を聴く機会は、必要だ。</p> <p>【指導課追記】 小・中学校では、平和教育の一環に特別活動として、学校行事や国民の祝日などをテーマに平和の重要性を学ぶとともに、修学旅行では全小学校が長崎を、一部の中学校では広島や沖縄を修学旅行地を選ぶなど、体験学習や被爆体験談などを通じて平和の尊さを学んでいる。 このような機会を通じて体験談を伝えることは可能と思われるので、お近くの小学校、中学校にご相談されてはいかがでしょうか。</p>